

2016年度後期自治委員会総会決議

大阪府立大学中百舌鳥・りんくうキャンパス学生自治会中央執行委員会

(1) 内容構成

—活動報告—

- 要望書に関する活動
- 情報収集・情報宣伝
- 大学運営に関する活動
- 立て看板管理局
- 学生団体連絡会議
- 大型PA再購入実行委員会
- ステージ管理委員会

—活動方針—

- 要望書に関する活動
- 情報収集・情報宣伝
- 大学運営に関する活動
- 立て看板管理局
- 学生団体連絡会議
- 大型PA再購入実行委員会
- ステージ管理委員会

(2) 活動報告

大阪府立大学中百舌鳥・りんくうキャンパス学生自治会(以下、学生自治会)は、2016年度前期自治委員会総会から以下に示す活動を行いました。

【要望書に関する活動】

学生が大学に対して抱いている要望の実現は、よりよい学生生活の実現につながると学生自治会は考えます。しかし、学生個人が大学に対して要望の実現をはたらきかける形では、要望が実現されることの必要性や重要性が大学に伝わりにくいなどの理由から要望が実現されにくい可能性があります。学生が抱いている要望が実現されることの必要性や重要性を大学に伝えて、要望の実現をはたらきかけるには、学生自治会が学生の意見や要望をまとめた要望書を作成し、大学に提出することが有効であると学生自治会は考えます。そのため学生自治会は、学生から意見や要望を収集し、要望書を大学に提出します。

1. 要望アンケートおよび事前アンケートを実施しました

学生自治会は、2016年10月3日から11月11日にかけて中百舌鳥キャンパス、りんくうキャンパスに在籍している学生を対象に要望アンケートを行い、大学や学生生活に対して学生が抱いている意見や要望を収集しました。また、学生が注視していることや興味・関心のあることを調査し要望アンケートに反映させるため、2016年7月4日から8月5日にかけて事前アンケートを実施しました。事前アンケートには67通の回答が、要望アンケートには1046通の回答がありました。

2. 要望書案・要望書資料を作成しました

学生自治会は要望アンケートを通して得られた意見や要望をもとに要望書案を作成しました。また、要望書案の要望内容に関する詳細や補足を記載した要望書資料を作成しました。

【情報収集・情報宣伝】

学生自治会の活動をより学生の実情に即したものにするためには、大学や学生生活に関する情報および学生の意見や要望を収集し、適宜活動の参考にする必要があると学生自治会は考えます。また、大学による情報発信に加えて学生自治会が大学や学生生活に関する情報を学生に対して発信することにより、学生が情報を得る機会が増加するため、学生がより大学へ意見を発しやすい環境を整えることができると学生自治会は考えます。そのため学生自治会は、情報収集・情報宣伝を行っています。

1. 学生の意見や要望および大学や学生生活に関する情報の収集を行いました

学生自治会は、意見箱やインターネットなどの情報収集手段を活用し、学生の意見や要望、大学や学生生活に関する情報の収集を行いました。また、大阪府大学教職員組合(以下、府大教)や学生センターとの話し合いを通して、大学や学生生活に関する情報の収集を行いました。収集した意見や要望は適宜学生自治会の活動の参考にし、収集した情報は必要に応じて学生に対して宣伝を行いました。

2. 大学や学生生活、学生自治会に関する情報の宣伝を行いました

学生自治会は、情報収集によって得られた大学や学生生活に関する情報および学生自治会の活動に関する情報を、自治会総合情報誌『NASCA』やウェブサイト、『Twitter』などの情報宣伝手段を活用し、学生に対して宣伝を行いました。

【大学運営に関する活動】

大阪府立大学では現在、第2期中期計画や平成28年度計画をもとに大学運営が行われています。また、大阪府立大学と大阪市立大学の統合(以下、府市大統合)に向けての準備も行われています。しかし、学生の実情に即した大学運営が行われなければ、学生が不利益を被るおそれがあります。そこで学生自治会では、大学運営や府市大統合に関する情報を収集する、大学に対する学生の意見を大学に伝えるなど、大学運営に関する活動を行っています。

1. 府市大統合に関する情報収集を行いました

学生自治会は、大学関係者や府大教との話し合いおよびインターネットを通じて、大学の運営計画や府市大統合に関する情報の収集を行いました。

情報収集の結果、2016年8月22日に行われた第5回副首都推進本部会議にて示された『新大学について(検討経過の報告)』より、「府市大統合の検討について、今後は2016年4月に副首都推進本部の下に発足した新大学設計4者タスクフォースにおいて、幅広く研究者や経営者等から意見を聴きながら、府市大統合の効果の検証と提案の内容を充実させていく予定である」との情報が得られました。

また、2016年10月25日に示された第3期中期目標より、「「新・公立大学」大阪モデル(基本構想)を踏まえ、世界に展開する高度な研究型の公立大学を目指し、大阪府、大阪市及び公立大学法人大阪市立大学と緊密に連携を図りながら、法人統合から大学統合に至る準備が円滑に進むよう取り組み、今中期目標期間中を目処に新大学の実現を図る」との情報が得られました。

2. 府市大統合に関するアンケートの集計を行い、結果を公表しました

学生自治会は2016年5月23日から中百舌鳥キャンパス、りんくうキャンパスに在籍している学生を対象に実施した府市大統合に関するアンケートの結果を、自治会総合情報誌『NASCA vol. 53 要望アンケート情宣号』に掲載し、学生に対して公表しました。また、府市大統合に学生の意見を取り入れてもらうため、アンケートの結果を大学に提出しました。

【立て看板管理局】

立て看板は情報宣伝の手段として多くの学生団体やクラブに使用されています。また、ステージバックは大学祭のステージ企画を盛り上げるために使用されています。しかし、立て看板やステージバックが正しく使用されなければ、重大な事故が起こるおそれがあります。学生自治会は、学生が情報宣伝の手段やステージ企画を盛り上げるための手段として立て看板やステージバックを安全に使用できるよう立て看板管理局を設置し、立て看板やステージバックの管理を行っています。

1. 立て看板やステージバックの管理を行いました

立て看板管理局は、立て看板やステージバックによる事故を未然に防ぐため、立て看板の修理を行う、悪天候時には立て看板を倒す、使用中の立て看板やステージバックの定期的な見回りを行うなど立て看板やステージバックの管理を行いました。また、立て看板やステージバックの使用方法に問題のある団体に対しては、適宜指導を行いました。

2. 立て看板の使用方法についてのマニュアルを発行し、講習会を開きました

立て看板管理局は、立て看板の管理団体である白鷺祭実行委員会、友好祭実行委員会や立て看板の使用団体に対し、立て看板やステージバックの使用方法や設置場所について記載したマニュアルを発行しました。また、立て看板の管理団体に対しては立て看板の使用方法についての講習会を開催しました。

3. 第3回笹の葉祭中および第68回白鷺祭本祭典中の管理体制を検討・強化しました

第3回笹の葉祭中および白鷺祭本祭典中には、立て看板やステージバックの危険性を知らない多数の一般の方が中百舌鳥キャンパスを訪れるため、立て看板やステージバックによる事故が起こる可能性が平時よりも高くなると立て看板管理局は考えました。そこで立て看板管理局は、第3回笹の葉祭中および第68回白鷺祭本祭典中の管理体制を検討・強化しました。

【学生団体連絡会議】

学生自治会は、各学生団体が活動を円滑に進められるよう、月に一度学生団体連絡会議(以下、学団連)を開き、学生団体間での情報交換や調整を行っています。

1. 学生団体間で会議を開き、情報交換や調整を行いました

学生自治会は、学団連の構成団体として月に一度会議を開き、団体間での情報交換を行うとともに各学生団体の活動が円滑に行われるよう調整を行いました。

2. 第35回全学新歓実行委員会に協力しました

11月の学団連では、第35回全学新歓実行委員会が「これから大阪府立大学に入学する新入生が抱くであろう不安や疑問を取り除き、学生同士の交流を深める機会を作ることにより、いち早く大学に馴染むようにサポートする。」という活動意義のもと発足しました。

新入生のよりよい学生生活の実現のためには、新入生が大学にいち早く馴染むことが望ましいと学生自治会は考えました。そこで学生自治会は、第35回全学新歓実行委員会に対して、実行委員として学生自治会役員が参加し、活動場所として学生自治会室の一部を提供することで協力しました。

3. 学生センターとの話し合いに参加しました

学生団体と大学との間で話し合いや意見交換を行うことで、学生団体は大学の情報や実状を、大学は学生団体の活動を把握することができます。互いの実状や活動を把握することで学生団体の活動がより円滑なものとなり、大学運営により学生の実情が反映されやすくなると学生自治会は考えました。そこで学生自治会は、学団連の構成団体として、学生センターとの話し合いに参加し、大学との情報交換や意見交換を行いました。

【大型PA再購入実行委員会】

大型PA再購入実行委員会は、大型PAの再購入を通して団体相互の連携・親睦を深め、クラブやサークルなどの課外活動の充実や大学の文化的発展を図ることを目的に活動している団体です。学生自治会は大型PA再購入実行委員会の構成団体として、大型PA再購入実行委員会の活動を行っています。

1. 定例会に参加し、話し合いを行いました

学生自治会は大型PA再購入実行委員会の構成団体として、月に一度定例会に参加し、大型PAの現状確認や構成団体間での情報共有を行いました。

【ステージ管理委員会】

ステージ管理委員会は、ステージの管理・運用・再購入を通じて団体間の連携・親睦を深め、大学の文化的発展を図ることを目的に活動している団体です。ステージ管理委員会は、日頃のステージの管理・運用を行うためにステージ管理局を設けています。学生自治会はステージ管理委員会の構成団体として、ステージ管理委員会の活動を行っています。

1. 定例会に参加し、話し合いを行いました

学生自治会はステージ管理委員会の構成団体として、ステージの安全な管理・運用を行うため月に一度定例会に参加し、ステージの現状確認やステージの管理・運用に関する話し合いを行いました。

2. ステージの管理業務を行いました

ステージ管理局は、ステージを安全に運用していくためステージの監視・保護およびステージの使用団体に対しての注意喚起を行いました。

(3) 活動方針

学生自治会は、2017年度前期自治委員会総会まで以下に示す活動を行います。

【要望書に関する活動】

1. 要望書を大学に提出し、要望書説明会を開催します

学生が抱えている要望が実現されることの必要性や重要性が大学に伝わることで、大学は学生が抱く要望の実現をしやすくなると学生自治会は考えます。そこで学生自治会は、大学に対して要望書と要望書資料を提出し、要望書説明会を開催することで学生が抱えている要望が実現されることの必要性や重要性を大学に伝えます。

2. 要望書公開回答の実施に向け、大学に協力を要請します

要望書に対しての公開形式での回答は、学生が要望書への回答に対して大学側へ直接質問や意見を述べることができるため、学生と大学が互いの実情を知る貴重な機会となります。そこで、学生自治会は要望書に対する回答が公開形式で行えるよう、大学に協力を要請します。

【情報収集・情報宣伝に関する活動】

1. 引き続き学生の意見や要望および大学や学生生活に関する情報の収集を行います

学生自治会は、引き続き意見箱やインターネットなどの情報収集手段を活用し、学生の意見や要望、大学や学生生活に関する情報の収集を行います。収集した学生の意見や要望は必要に応じて大学などの関係各所に伝え、回答を要請します。また、学生自治会に対する意見や要望は今後の活動の参考にします。

さらに、学生自治会は府大教や学生センターとの話し合いを行い、大学や学生生活に関する情報の収集を行います。収集した情報は、必要に応じて学生に対して宣伝を行います。

2. 引き続き大学や学生生活、学生自治会に関する情報の宣伝を行います

学生自治会は、引き続き自治会総合情報誌『NASCA』やウェブサイト、『Twitter』などの情報宣伝手段を活用し、学生に対して大学や学生生活に関する情報の宣伝を行います。なお、学生自治会に寄せられた意見や要望に対する学生自治会および大学からの回答は、必要に応じて自治会総合情報誌『NASCA』やウェブサイトに掲載します。

【大学運営に関する活動】

1. 引き続き府市大統合や大学の運営計画に関する情報の収集を行います

学生自治会は、引き続き大学運営や府市大統合に関する情報の収集を行い、必要に応じて学生に対して宣伝を行います。また、大学運営や府市大統合によって学生が不利益を被るおそれがある場合には、適宜大学に対して改善を要請します。

【立て看板管理局】

1. 引き続き立て看板やステージバックの管理を行います

立て看板管理局は、立て看板やステージバックによる事故を未然に防ぐため、立て看板やステージバックの修理を行う、悪天候時には立て看板を倒す、使用中の立て看板やステージバックの定期的な見回りを行うなど、引き続き立て看板やステージバックの管理を行います。

2. 新歓時期に先立ち、場所割会議や講習会を開きます

新歓時期に立て看板を使用する団体、とりわけ平時は立て看板を使用しない団体が立て看板の使用方法を理解することは、新歓時期の立て看板による事故を未然に防ぐために必要であると学生自治会は考えます。また、新歓時期には平時よりも多数の団体が立て看板を使用することが予想されますが、立て看板の使用予約を先着順にしてしまうと、立て看板の使用に関して不利益を被る団体が生じるおそれがあります。そこで立て看板管理局は、新歓時期に先立ち、立て看板の使用方法についての講習会や場所割会議を開きます。

3. 第56回友好祭本祭典中の管理体制について検討します

友好祭本祭典中には、立て看板やステージバックの危険性を知らない多数の一般の方が中百舌鳥キャンパスを訪れるため、立て看板やステージバックによる事故が起こる可能性が平時よりも高くなることが予想されます。そこで立て看板管理局は、第56回友好祭本祭典中の管理体制の強化について検討します。

【学生団体連絡会議】

1. 引き続き学団連を開き、情報交換や調整を行います

学生自治会は、学団連の構成団体として、引き続き会議を開き、団体間での情報交換や調整を行います。

2. 引き続き第35回全学新歓実行委員会に協力します

活動報告にもある通り、11月の学団連にて第35回全学新歓実行委員会が発足しました。学生自治会は、引き続き第35回全学新歓実行委員会に協力します。

3. 入学式クラブ紹介調整会議を設置します

学生にとって、クラブやサークルでの活動は学生生活をより充実したものにする一助となると学生自治会は考えます。そこで学生自治会は、入学式におけるクラブ紹介を円滑に行えるように、学団連にて入学式クラブ紹介調整会議を設置します。入学式クラブ紹介会議では、実施するにあたって必要な事項の検討・調整・連絡を行います。

4. 新歓時期の勧誘活動の規制を行います

例年、新歓時期には多数のクラブ・サークルなどの団体が勧誘活動を積極的に行います。クラブやサークルに所属している学生が新入生に対して勧誘活動を行うことで、在学生と新入生との間に交流が生まれ、新入生はクラブの活動を知る機会を得ることができます。しかし、中には過度な勧誘活動を行う団体が現れることがあります。過度な勧誘活動は入学手続きなどの妨げや、新入生にとって大きな負担となることが考えられます。そこで学生自治会は新歓時期の勧誘活動の規制を行います。

5. クラスオリエンテーション調整会議を設置します

学生にとって、学生団体での活動は学生生活をより充実したものにする一助となると学生自治会は考えます。そこで学生自治会は、新入生に学生団体を紹介する場としてクラスオリエンテーションを円滑に行うために、学団連にてクラスオリエンテーション調整会議を設置します。クラスオリエンテーション調整会議では、2017年度のクラスオリエンテーションの目的や、実施するにあたって必要な事項の検討・調整・連絡を行います。

6. 引き続き学生センターとの話し合いを行います

活動報告にもある通り、学生団体と大学との間で話し合いを行うことによって学生団体の活動はより円滑なものとなり、大学運営はより学生の実情に即したものになると学生自治会は考えます。そこで学生自治会は、学団連の構成団体として引き続き学生センターとの話し合いに参加します。

【大型PA再購入実行委員会】

1. 引き続き定例会に参加し、話し合いを行います

学生自治会は大型PA再購入実行委員会の構成団体として、引き続き定例会に参加し、大型PAの現状確認や構成団体間の情報交換、第5期再購入についての話し合いを行います。

【ステージ管理委員会】

1. 引き続き定例会に参加し、話し合いを行います

学生自治会はステージ管理委員会の構成団体として、ステージの安全な管理・運用を行うため引き続き定例会に参加し、ステージの現状確認や、ステージの管理・運用に関する話し合いを行います。

2. 引き続きステージの管理業務を行います

ステージ管理局は、ステージを安全に運用していくため引き続きステージの監視・保護およびステージの使用団体に対しての注意喚起を行います。

3. 新歓時期のステージ使用に関する調整会議を開きます

例年、新歓時期には、平時よりも多数のクラブ・サークルがステージを使用します。しかし、平時と同様にステージの使用を先着順にしてしまうと、ステージを使用できなくなるクラブ・サークルが生じるおそれがあります。そこでステージ管理局は、新歓時期にステージを円滑に運用できるよう、ステージ使用に関する調整会議を開きます。